

都内農業者に対する遺伝子組換え技術・農作物についてのアンケート結果 (中間集計)

調査目的 都内農業者の遺伝子組換え作物に関する意識動向を捉え、今後の農業施策を検討するための参考とする

- 調査対象** ① Tokyo Farmers* I～Ⅲ (農林水産部発行) 掲載農家
* Tokyo Farmersは、都内の先駆的・特色ある農業経営、地域と密着した農業、女性農業者起業活動の事例集
 ② 認定農業者 (農業経営改善計画を策定) および農業経営者クラブ会員 (企業的農業経営顕彰事業での受賞者)

調査方法 郵送によるアンケート

調査期間 平成16年12月

回収状況 ①

送付件数	164
住所不明等	7
実質送付数	157
回収件数	93
回収率	59%

② 【集計中】 1,700

回答者属性 ①

性別

	人数	%
男性	88	95%
女性	2	2%
無回答	3	3%
計	93	100%

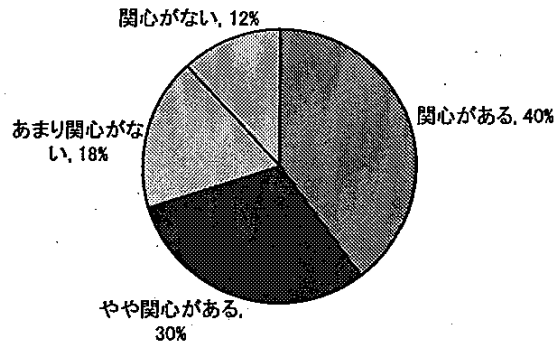
年齢

	人数	%
20歳代	1	1%
30歳代	2	2%
40歳代	19	20%
50歳代	34	37%
60歳代以上	35	38%
無回答	2	2%
計	93	100%

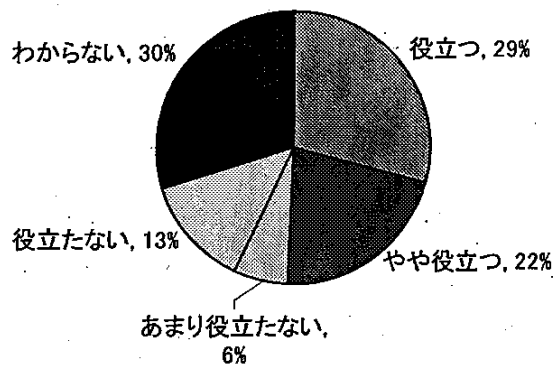
② 【集計中】

調査内容と結果

Q1:あなたは、遺伝子組換え技術について関心がありますか。

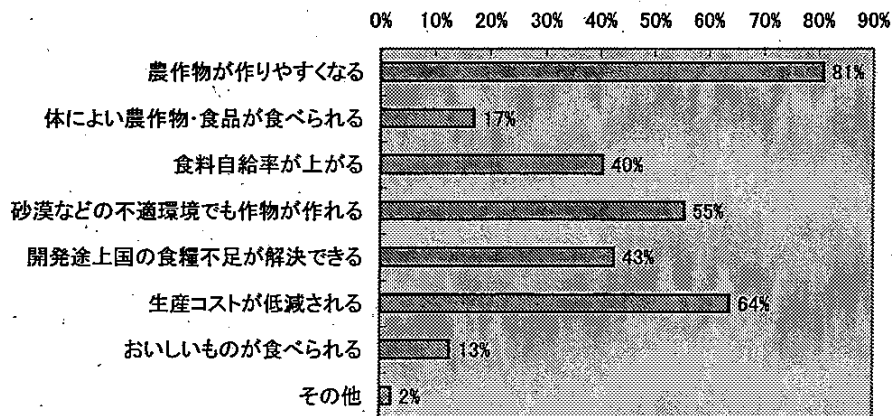


Q2:あなたは、遺伝子組換え技術は農業・食品分野にとって役立つ技術だと思えますか。



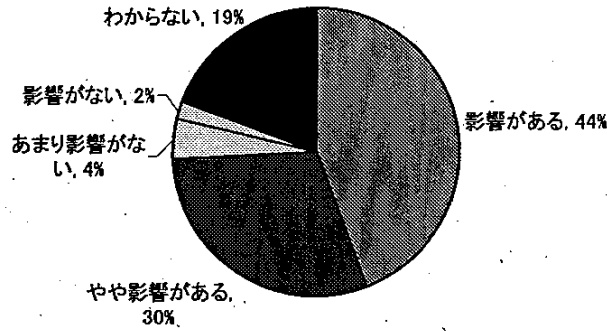
Q3:Q2で「役立つ」「やや役立つ」と答えた方にお聞きします。

どのようなことで遺伝子組換え技術が役立つと思えますか。(複数回答可)

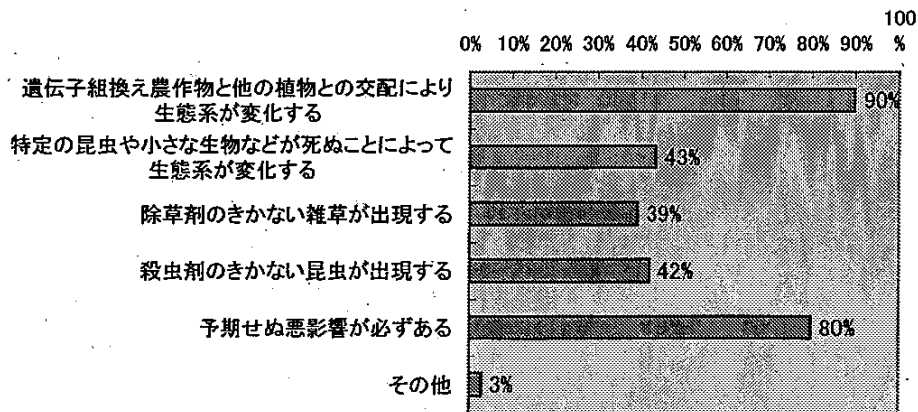


その他意見： 無農薬生産が可能になる

Q4: 遺伝子組換え農作物を栽培することによって環境への悪影響があると思いますか。

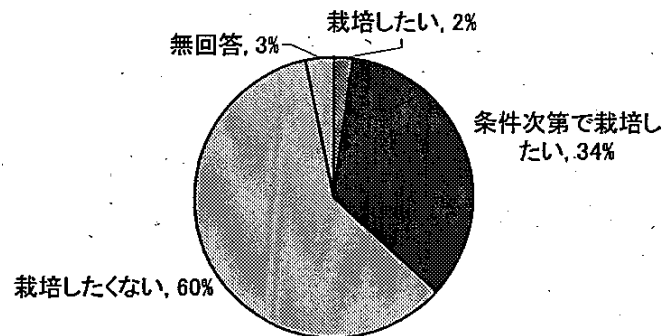


Q5: Q4で「影響がある」「やや影響がある」と答えた方にお聞きします。
どのような影響があると思いますか。(複数回答可)

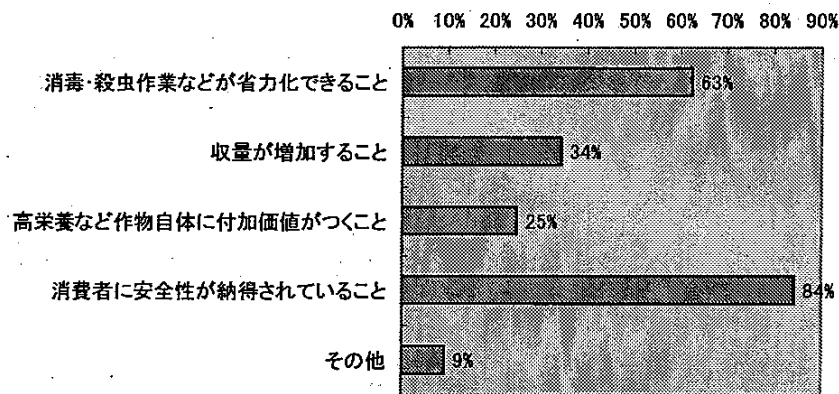


その他意見：
 ・作付け面積が小さい日本ではやがてコントロール出来なくなる
 ・未来(子孫)に何か発現するか理解できぬ言い知れぬ不安

Q6:あなたは、遺伝子組換え農作物を栽培したいと思いますか。



Q7:Q6で「条件次第で栽培したい」と応えた方にお聞きます。
どのような条件が必要ですか。(複数回答可)

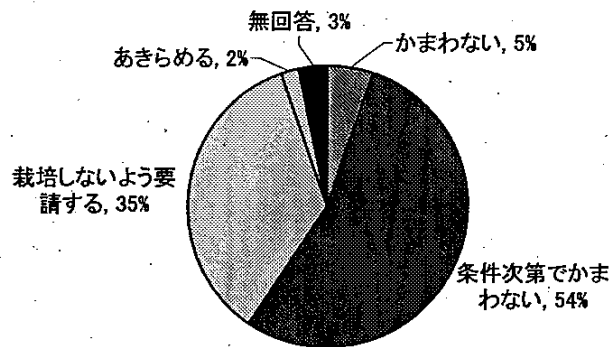


その他意見：

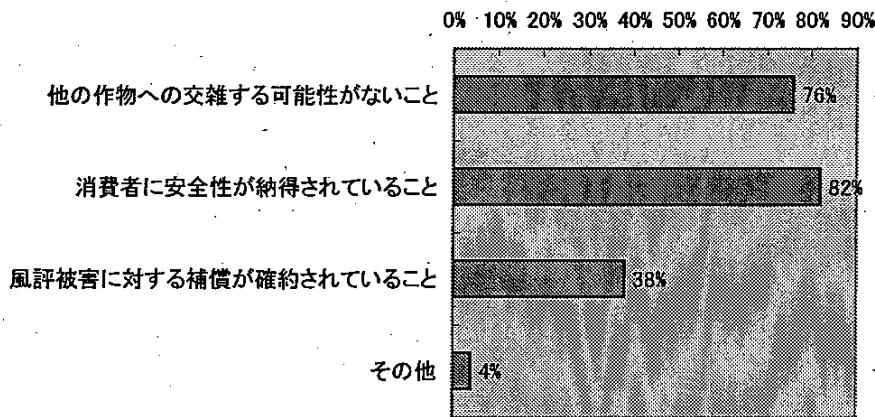
- ・環境への影響がないように考えた組み換えの作物であること
- ・生産者側の安全性の確保
- ・特定の企業の利益にならないこと

(多くはアメリカ企業の特許とか聞いたことがあります)

Q8: あなたの畑の近くで、遺伝子組換え農作物が栽培されようとしたら、どうしますか。

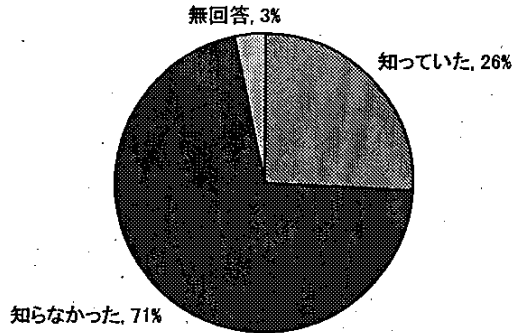


Q9: Q8で「条件次第でかまわない」と答えた方にお聞きます。
どのような条件が必要ですか。(複数回答可)

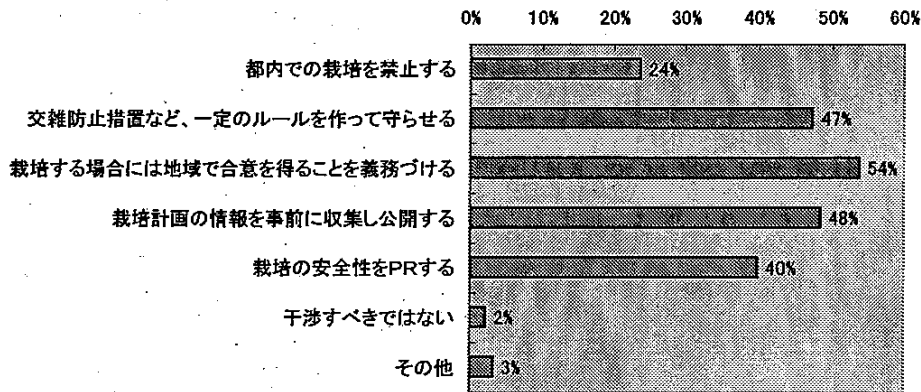


その他意見： ・環境対策が出来ているかどうか

Q10: 遺伝子組換え農作物は、農林水産省が環境に対する安全性を確認していることを知っていましたか。

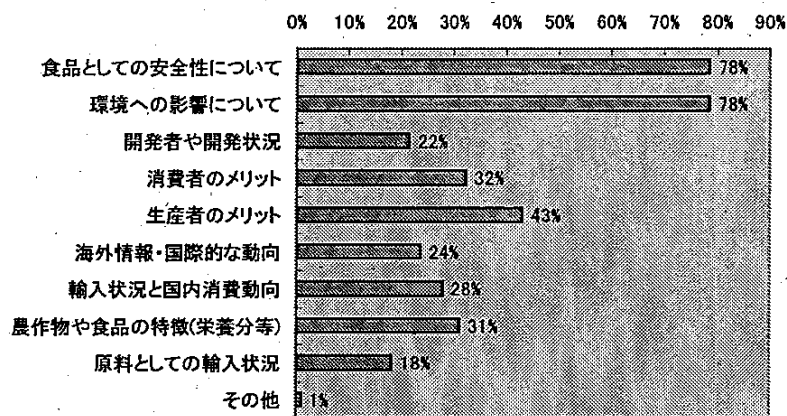


Q11: 遺伝子組換え農作物の栽培について、東京都がなすべきことは何だと思えますか。(複数回答可)



- その他意見：
- ・安全が確認されないなら禁止
 - ・国のPR不足(都も)
 - ・安全性をPRする場合、東京都の責任を明確にする

Q12: あなたは、遺伝子組換え技術・農作物・食品についてどのような情報が欲しいですか。
(複数回答可)



その他意見： これを食した結果、未来の人類にどのような影響が出るか証明できる人がいるのでしょうか。これが証明できぬ限りいかなる情報も意味を持たないと思います。

自由意見	農業者及び消費者に本当に必要なことか？考えて頂きたい。本当に必要なら私は各畜（マ）しません。
	遺伝子組換え技術は農家サイドとしては役立つと思いますが、食べるには不安感を感じます。
	アンケートの設定が農水省主張の方向でなされているように感じる。
	生態系の中のひとつに過ぎないヒトが、その都合によって他生物に影響をおよぼしかねない「遺伝子の操作」を行おうとすること自体、人類の横暴といわざるを得ない。アメリカの横暴に追従する日本の姿が見えてきます。EUは基本的に反対の筈です。従って、絶対に認められません。